

シンポジウム

ピエール・パシエ

または

自伝的エッセー

今日一人称で書くことの意味



自らの経験の具体性を出発点に思索を巡らせつづけた作家ピエール・パシエ (1937-2016) の自伝的エッセー。多の中の一として、一人称で現実を書くというその徹底して民主的かつ人類学的な文学の地平を、気鋭の文学研究者マリエル・マセ、アートシーンでも活躍中の小説家ブランディース・リンケルほかを迎えて問う。

INTERVENANTS:

Marielle MACÉ マリエル・マセ (パリ高等社会科学研究院 [EHESS] 教員)

Blandine RINKEL ブランディース・リンケル (小説家・アーティスト)

Laurent JENNY ローラン・ジェニー (ジュネーヴ大学名誉教授 [代理人による発表])

MORIMOTO Yosuke 森元庸介 (東京大学教員)

YASUHARA Shin'ichiro 安原伸一朗 (日本大学教員)

MODÉRATRICE:

NEMOTO Misako 根本美作子 (明治大学教員)

主催:

明治大学文学部フランス文学専攻

協賛:

明治大学人文科学研究所 | 明治大学国際連携事務室

2018年10月27日 | 土

14:00-18:00

明治大学文学部駿河台キャンパス
リバティタワー7階1074教室

使用言語: フランス語 (逐次通訳付) | 来聴歓迎

Colloque organisé par le département de la littérature française,
Université de Meiji

En français avec traduction japonaise

Salle 1074, 7^e étage, Liberty Tower

Campus Surugadai, Université Meiji (Métro: Ochanomizu)

Entrée libre sans réservation

<お問い合わせ> 明治大学 国際連携事務室

TEL: 03-3296-4278 MAIL: ico@mics.meiji.ac.jp